

大学等環境安全協議会実務者連絡会 労働安全衛生部門企画 第3回実務者連絡会技術研修会開催要項

◇趣 旨 環境・安全マネジメント、安全衛生管理及び環境安全教育を徹底するため、大学等における環境保全施設業務、学生並びに教職員の安全衛生管理業務、教育、研究、医療等の諸活動に伴って使用される化学物質等の管理業務、その結果発生する有害な廃棄物の処理業務、環境安全教育等に携わる教職員が、その連携を密にし、管理の方法、技術及び教育に関する研修並びに環境保全施設、安全衛生管理組織等の管理運営に関する諸情報を交換する。

◇開催日 平成23年3月9日(水) 9:30-17:00
◇主催 大学等環境安全協議会実務者連絡会
◇共催 静岡大学
◇会場 静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館会議室、他
◇規模 約50名程度
◇受付 総合受付 13:00- 佐鳴会館

◇研修プログラム

§1、特別企画研修(9:30-12:00)「局所排気装置のメンテナンス技術研修」

労働安全衛生法第45条に基づき、局所排気装置は資格者による定期自主検査が義務づけられている。検査は、作業主任者または管理者が自ら行うことで、設備の維持管理に対する意識の向上が期待できる。

自ら維持管理を行うに当たり、装置の構造と働きならびに装置内の気流の乱れ等を習得するために、実際に装置を使用して研修を行う。

※ 実演を伴う研修を実験室で行うため、先着15名までとします。(事前申し込みが必要です)

※ 参加申込者には、後日集合場所等お知らせします。

§2、実務研修(13:30-17:00)

(1) 開催の挨拶

静岡大学理事・副学長(浜松キャンパス総括安全衛生管理者)

(2) 講演 13:30-14:20

「作業環境測定委託の留意点と化学物質のリスクアセスメント手法」

(社) 静岡県産業環境センター 清水正昭氏

(3) 実務研修(事例報告とディスカッション 14:30-16:30)

① 薬品管理 (事例報告; 静岡大学・中山政勝) 14:30-

今回予定しているアンケートの集計結果の報告を行い、薬品管理の方法ならびに薬品管理システムを利用している場合のデータの活用法を考える。

② 局所排気装置(事例報告; 静岡大学・藤村 久) 15:00-

今回予定しているアンケートの集計結果の報告と、午前中に行う技術研修のまとめ、さらに自社メンテナンスの提案を行う。

③ 作業環境測定（事例報告；静岡大学・馬塚丈司） 15:30-

静岡大学では、年2回行われる使用薬品のデータから作業環境測定する作業場を決め特殊健康診断も行っている。しかし、この調査内容に不備があると安全な作業場の確保が出来なくなる。

④ 廃液処理（事例報告；浜松医科大学・鈴木一成） 16:00-

事例として浜松医科大学における廃液と薬品の回収から外部委託処分までの工程を紹介し、各作業について安全衛生上の問題点を討論したい。

(4) 総合討論 16:40-17:00

最近のトピックス、今後の展望

座長 愛教大保健環境センター 榊原洋子

その他

(1) 安全衛生管理・薬品登録室の見学 自由参加 17:00-17:30

(2) 高柳記念館（TV 発祥の地）見学 自由参加 17:00-17:30

◇懇親会 17時30分～19時頃 生協南館2階（会費2,000円）

◇参加申し込み、問合せ先（事務局）

静岡大学浜松キャンパス安全衛生管理室

Tel. 053-478-1721 Fax. 053-478-1722

oanzen@ipc.shizuoka.ac.jp（@は全角になっています）

.....
[<参加申し込みフォーム>](#)

大学等環境安全協議会実務者連絡会

労働安全衛生部門企画第3回実務者連絡会技術研修会参加申し込み

大学名：

所属：

氏名：

E-Mail：

特別企画研修：参加 不参加

懇親会：参加 不参加

申込先 oanzen@ipc.shizuoka.ac.jp（静岡大学浜松キャンパス安全衛生管理室）